

ローカル・ネットワーク
オブ・ジャパン
結成に向けて

とき：1996年2月3日（土）午後4時～

ところ：ホテル・コンチネンタル横浜

ネットワーク時代の政治
～ローカル・ネットワーク（Jネット）の結成に向けて～

次 第

- 1 開会 向田映子（神奈川ネットワーク運動）
- 2 主催者挨拶 横路孝弘（新しい風北海道会議）
- 3 来賓挨拶 鳩山由紀夫（新党さきがけ代表幹事）
- 4 メッセージ紹介 村山富市社会民主党党首、他
- 5 基調提起 コーディネーター 高野 孟（インサイダー編集長）
 - (1) 「ネットワーク時代・
ローカル・パーティー神奈川ネットワーク運動の実践」
又木京子氏（神奈川ネットワーク運動代表・県議会議員）
—— 討論A ——
 - (2) 「ネットワーク時代の政策形成」
～公共事業のあり方と地域の政策活動～
五十嵐敬喜氏（法政大学教授・弁護士）
—— 討論B ——
※会場コメンテーター 海江田万里、他
- 6 コーヒーブレイク／休憩
- 7 討論課題提起 仙谷由人（四国市民ネットワーク）
—— 討論C ——
- 8 集会の総括 福間嶺子（普民ねっとわーく）
- 9 閉会

ローカル・ネットワーク・オブ・ジャパンの結成に向けて

(ジャパン・ネット96)

私たちは、自由自立とネットワークとが織りなす「新しい社会」の入り口に立っています。中央に権威と権限が集中し、そのタテ社会の網の目に人々が従うピラミッド型組織の時代は過去のものとなりつつあります。

今日、日本各地に自立的で自主的な社会活動やネットワーク型組織が生まれています。環境問題やまちづくり、地域産業やワーカーズ・コレクティブ、消費生活や子育て、老人介護などのテーマを掲げて、より豊かな市民社会を創り上げようとするボランティアな活動組織が実に多様な共同作業を進めています。それは、市民社会の出来事に責任を負い、自らの行動力と共同の力で問題解決をはかり、自らの手で「新しい日本」を生み出そうするエネルギーとなっています。

そしていま、それらの緩やかな組織活動が縦横にネットワーク状に結びき、共通の理念や政策課題の下に相互に連携し合うコーディネート・センターを共同で作arius仕事が残されています。

ローカル・ネットワーク・オブ・ジャパン（Jネット96）は、地域における多様な活動の交流機会とそれらに共通する基本政策の作成と提示を行い、ここに共鳴する様々な単位のローカル集団や人々が相互に協力のネットワークを編み出すことを目的に設置されるものです。同時に、タテ社会を形作ってきた古い組織体質や行動スタイルを変革し、市民がヨコに結びつく「新しい政治文化」を日本社会に定着させるよう、自らの行動と新しい思考をもって探求していきます。

日本社会はいま、〈安全神話〉や〈成長神話〉の崩壊によりその未来について不安を抱え込んだまま、確かな方向性を見失い〈漂流社会〉と化しています。この現状に誰が責任をもって応えるのか、立場を超えてその解答を見いだしていかなくてはなりません。

情報独占と権威主義に支えられた官僚機構についてはその決定的な見直しが求められています。権益を守ることに汲々としている政官業のトライアングル

を打ち壊さなくてはなりません。急速に進む情報社会や高齢化社会の波にも備える必要があります。ますますボーダレス化する経済や社会活動を受け、地球市民としての新しい課題にも応えていく責務があります。

改革すべき課題が見えているのに、既得権益に拘泥する勢力によって現実の改革は先送りされています。そうした政治の現状が、日本社会の希望ある未来の創造をますます困難にしています。人々の自立心を損ない、その責任意識を萎縮させる官僚主導型社会、タテ型組織社会を終わらせるため、地域における多様な自立的ネットワーク活動を支援するとともに、日本社会の古い体質を改革する大胆な「世直し」に取り組んでいくことを、ここに提案します。

1996年1月

ローカル・ネットワーク・オブ・ジャパン結成のための呼びかけ人

海江田万里	リベラル東京会議
菅野 泰	民主リベラル千葉
仙谷由人	四国市民ネットワーク
田村節美	松江市市議会議員
福間嶺子	大阪普民ネットワーク
又木京子	神奈川ネットワーク運動
横路孝弘	新しい風・北海道会議
肥田美代子	民主党大阪

〇〇〇〇

〇〇〇〇

〇〇〇〇

Ｊネットの目標と役割

Ｊネットは、日本政治における「新しい極」の担い手創出をめざすが、中央政界の新党づくりを直接課題としない。自前のネットワークづくりを目標とし、多様な政策課題をテーマに社会運動を展開するローカル組織を支援する主体となる。このため、各地の市民ネットやNPO組織、新極を担うローカル・パーティなどとの連携をめざす。

1. ローカル・ネットワークの目標

- ①市民社会に政治を取り戻し、民主主義を活性化する。
- ②地域におけるリベラルな参画型政治を実現する。
- ③日本政治の中に市民生活に根づいた新しい極の形成を促進する。

2. ローカル・ネットワークの主な役割

- ①地域と市民生活を基本に多様な情報発信と政策提言を行う。
- ②各地におけるネットワーク型組織の創設と活動を支援する
- ③各級選挙で相互の合意と契約を通じて市民志向の政治家を支援する。

3. ローカル・ネットワークの重点政策

- ①地域に開かれた高度福祉社会への転換
- ②公共事業のあり方の見直しと財政改革の実施
- ③地域における創造的産業基盤の形成と地方分権型社会の創造
- ④平和志向の積極外交政策の確立と展開
- ⑤情報公開法の制定促進と行政改革・国会改革の実現

4. ローカル・ネットワークの主な活動計画

- ①各地にネットワーク型のローカル組織の創設を支援する。
- ②ローカル・ネットワークのための全国センターの運営
(連絡調整、情報サービス、相談サービス、各種支援活動等)
- ③地域にけるテーマ別討論活動の展開と基本政策の作成
- ④新しい政治勢力(「新しい極」)のためのフォーラムの開催
- ⑤各級選挙の支援と契約の締結

5. 主な組織体制

- ①代表委員の設置
- ②幹事の選定
- ③ブロック別センター代表の確定
- ④事務局の設置

6. 会費及び財政

- ①会費の規定と確保
- ②財政の運営
- ③監査システムの確立